

『成田空港に第3滑走路を!!!』

しんごがゆく



あなたの声をチカラに！

~成田空港に第3滑走路を早期実現しよう！~



▲Youtube の写真



▲Youtube の動画

現在、WEB 署名も行っています。
※必要な個人情報はお名前とメールアドレス、郵便番号になります。



▲WEB 署名はこちら

次代に誇れる成田を目指すためにも、一緒に力を合わせて取り組みましょう！

発行：政友クラブ「成田市議会議員 雨宮真吾」〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28

WAVE

Vol.29
Shingo Amamiya Narita City Report

5年先、10年先の話ではなく、30年、50年後の成田のために

今、成田空港の発着枠 50万回に向けて 議論しよう！！



成田市議会議員
雨宮 しんご

2005年に栃木県今市市で当時7才の女兒が下校中にわいせつ目的で連れ去られ殺害されました。被害者と同世代の子を持つ親としても憤慨するかたな思いでしたので、無念さを感じるも胸をなでおろしました。ですが、報道をみると学校周辺の通学路は依然として薄暗い箇所が散見され、環境を変えることの難しさを知りました。

この事件後、地域による警戒活動や防犯力メーラを増やした自治体など通学路の安全を見直す動きが全国的に広がりました。わが成田市では、地域防犯推進員による青色パトロール車の通学路巡回や運送など民間13社のパトロール協力の実施、そして、雨宮がかねてから推進している『防犯カメラ』は、不審者情報多発地区に34機が既設され、今年度も5機を12月までに運用する運びとなっています。

しかし、何事も万全はありません。

平成24年6月議会において『不審者対策』を訴えたところ、執行部の真摯な対応により防犯力メーラや見回りなどの対策が講じられましたが、こうした悲劇が二度と起こることのないよう、『場所』と『時間』での危険性を共有するなど、今後も子どもたちの通学路の安全・安心に力を注いで参りたいと思います。

被害に遭われた有希さんのご冥福を衷心よりお祈りします。

いつ誰によつて起るか分からぬ事件。だけではなく、塾や稽古の帰りであればもっと遅い時間登下校だけではなく、地域ボランティアの力や子どもたちの自己防衛など、そのどれもが必要な施策だと思います。成田市に林道はありませんが、公園の脇や線路の側道など“死角”は意外に多いと思います。

通学路の安全を今一度、真剣に考えたい。

成田空港の年間発着容量 50万回に向けて議論をしよう！

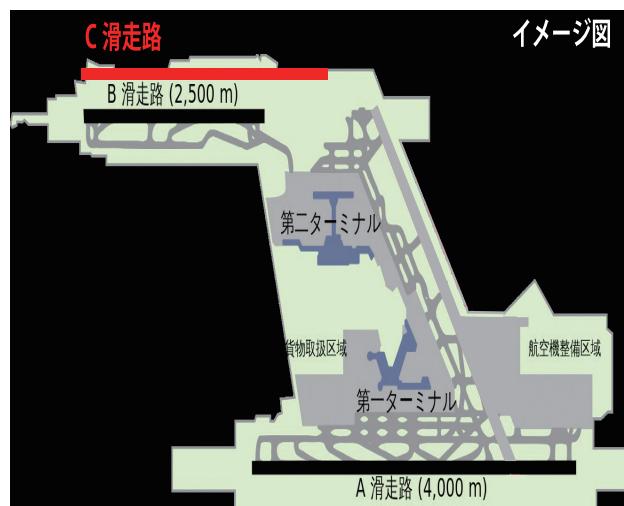
運輸政策研究所の首都圏空港機能強化検討調査委員会において、首都圏空港（成田・羽田）の発着回数を100万回にするために、成田空港の様々なポテンシャルが引き出されました。以下を参考に、成田市の屋台骨を担っている成田空港の機能強化を考えていきたいと思います！

■高速離脱誘導路の整備で34万回へ！

既に整備されているA・B滑走路の1時間当たりの現行発着回数64回を、高速離脱誘導路の整備などにより68回まで引き上げ、年間発着回数を34万回が可能になることです！

■航空離着間隔を縮めて41万回へ！

大型機の就航比率を下げ、また離着陸機の順序を入れ替えることで、航空機離着発着の間隔時間を縮めることができると想定されるため、1時間当たりの発着回数を84回に拡大させることで、年間41万回まで引き上げられるということです！



成田空港は発着容量30万回が容認されていますが、航空会社の希望の多い時間帯の枠は既に満杯状態であり、また受け皿となりにくい時間帯もあることから未使用枠が残るのではないかとされています。

成田空港のピーク時間帯枠を更に増やす機能強化が必要なことは言うまでもありません。内陸空港であることの課題を認識しつつ、高速離脱誘導路や大型機就航比率の引き下げなど出来るところからスピード感を持って前進させていきたいと思っています！



雨宮しんごの一般質問

初当選から毎回欠かさず行っている今回の一般質問では、『国際医療福祉大学誘致をめぐる補助金のあり方』や『相次ぐ成田市職員の不祥事』について論陣を張りました。スペースの関係上、ここでは概要のみお伝えいたします！（詳細は議事録か雨宮HPをご覧ください！）

■3本目の滑走路で50万回へ！

発着容量50万回の実現には「現状の2本滑走路では難しく、滑走路の増設が必要」と結論付けられ、次の3案が提示されました。

▽1案：B滑走路の南東側に平行滑走路として整備

A滑走路は独立運用として離着陸に使い、B滑走路を離陸専用、新設C滑走路を着陸専用。（B滑走路は3500m、C滑走路は2700mが必要）

▽2案：1案と同様に整備、運用に工夫

1案同様に南東側に平行C滑走路を整備、しかし1案よりもB滑走路との間隔は狭める。B滑走路とC滑走路を風向きによって、一方を離陸専用、他方を着陸専用として使用。（BC両滑走路とも3500mの整備が必要）

▽3案：A滑走路とB滑走路の間に平行C滑走路を整備

B滑走路寄りにA滑走路とB滑走路の間に平行C滑走路を整備。（両滑走路とも3500m）。運用方法は第2案と同様で、風向きによってどちらかを離陸専用、他方を着陸専用とする。※この案は第2ターミナルなど移動距離の関係からB滑走路から南に離して建設する必要がある。

■「事業主体は市ではないから補助金の使途は関知しない！」ではお話にならない！（補助金支出における議会の関与）

成田市では1万円単位のものから今回の30億円と額に開きがある補助金支出を同じように「補助金交付規則」で運用しています。ですが、大学側に補助金の使途の正当性を問うと「事業主体は市ではないことから関知していない。」と同規則を盾にされ、情報がうまく出てきませんでした。

成田市は国家戦略特区にも指定され、国際医学部の新設を含めた協議が行われるなど多額の補助金事業が今後も想定されることから、補助金支出における議会の関与について要請しました。市執行部の迅速な対応に期待します！

雨宮の提言

▽補助金交付団体は公金である補助金をいただいているという認識に立って補助金の使途を検討すべきであり、議会が求めるのであれば、それに耐えうる適切な情報を開示すること。

▽行政は上記の準備を常にさせておくよう補助金交付団体に指導を徹底させること。

■「給料をもらいながら犯罪が犯せる！？」相次ぐ不祥事に喝！

不本意ながら成田市職員の不祥事が後を絶ちません。（今年だけで既に2件！）成田市にはこれまで懲戒処分・分限処分に明確なガイドラインが整備されていませんでしたので、迅速に整備・厳格運用をするよう提案、検討されることになりました。

また、犯罪を犯し警察の留置所に拘留されているながら有給休暇が申請され、受理するという倫理観を疑う事例もあることが明らかになりました。いくら上位法で担保されているとはいえ、勝手に犯罪を犯して欠勤したことになった職員の給料を市民の税金で補填することは市民感情が許すとは到底思えません！市民に納得のできる制度設計を提案しました！

出前市政報告会を開催しています！！

雨宮しんごは、お一人にでも多くの市政の現状・問題点をお伝えするため、ご要望に応じて出前市政報告会を開催しています。メールかFAXにてお申込み（2人以上）頂ければ、日程を調節の上、成田市内どこへでも伺います。ざっくばらんな意見交換の場としても活用ください！！



info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

活動日記を毎日更新中！！
「雨宮しんご」で検索ください！

雨宮しんご 検索

雨宮真吾事務所 〒286-0018 成田市吾妻3-48-28 TEL・FAX/0476-37-3831

- ・1978年10月31日生まれ（35歳）
- ・平成19年 過去最多得票（2651票）で初当選
- ・平成23年 過去最多得票（4079票）で2期目当選
- ・総務常任委員会
- ・交通対策特別委員会 委員長
- ・印旛利根川水防事務組合
- ・日本サーフィン連盟公認インストラクター

